

ものづくりの現場に欠かせない 精密ヤスリのトップメーカー

“ものづくりは人(職人)づくり”の経営に徹する

昨年、創業80周年を迎えた(株)広島鑢製造所(広島県呉市)は、「魚地球印」(うおちきゅういん)のブランド名で知られる精密ヤスリのトップメーカーである。ニッチな領域ながら国内で約95%のシェアを誇り、代理店を通じ海外15カ国にも輸出している。

広島鑢製造所

同社は高度な技術を要する精密ヤスリに特化した国内唯一のメーカーである。海外から輸入した加工機械をカスタマイズし、各工程で伝承の技術を持つ職人的社員の手作業を融合して完成させていくため、他社には真似ができないと

いう。ヤスリの表面には、「目」と呼ばれる細かな刃があり、同社の場合、1インチ(25.4ミリメートル)四方に125個の目が入っており、素人では表面を触つても目があるのかわからないほどである。仏具・家具などの飾り金具や宝飾加工の仕上がり等でプロの職人に愛用されている。

また、1983年には楽器メーカーからの依頼で、ギターの弦を調整するギターヤスリを開発。今ではバイオリン用など他の弦楽器にも使用され、匠の技に支えられた最高級ブランドとして世界的な評価を得ている。

プロに愛される匠の技



中洲紀子社長

高級爪ヤスリがヒット

また、ベテランの整体師から「良い爪ヤスリがない」と話を聞き、先代社長の時代に生産を中心止していた爪ヤスリをプロ仕様にアレンジし、新製品「しなやか」を開発。指先の手入れを入念に行う着物作家や整体師、エステティシャンなどから圧倒的な支持を得た。「昨年の秋頃から大学関係者や企業の役員から海外のお客様や取引先へのお土産用などに数百個単位で受注が入るようになり、今年の夏から高級感を打ち出した新たな化粧箱も用意しました」



精密ヤスリと信頼のブランド「魚地球印」

た」と中洲社長はメインの精密ヤスリに加え、ギターヤスリや爪ヤスリなどサイド商品の開発・製造にも力を注いでいる。

祖父、父から3代目として2007年4月に経営を引き継いだ中洲社長は、「ものづくりは人(職人)づくり」という伝統の経営を守りつつ、新卒者や女性を積極採用し、困難と言われた技術継承を実現。「1年でマスターできる作業を覚えるのに4年もかかった20代の社員は、今は彼にしかできない作業を身につけるほど成長しました」と喜ぶ中洲社長は、今後も手作りにこだわつてく方針だ。



爪ヤスリ専用の新たな化粧箱